

**2008年3月改訂（第6版）
*2005年6月改訂

貯 法：室温保存，気密容器（開封後は湿気を避けて保存）
使用期限：3年（外装容器に表示）

日本標準商品分類番号
872233

気道粘液溶解剤

ペクタイト®錠50mg

ペクタイト®錠100mg

PECTITE® Tab. 50mg・PECTITE® Tab. 100mg

**〔L-メチルシステイン塩酸塩錠〕

	ペクタイト錠 50mg	ペクタイト錠 100mg
承認番号	21600AMZ00268000	47AM-1510
薬価収載	2004年7月	1974年3月
販売開始	2004年7月	1974年8月
再評価結果	1991年9月	
効能追加	1966年1月	

－ 禁忌（次の患者には投与しないこと）－
本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

－ 組 成 ・ 性 状 －

販売名	ペクタイト錠50mg	ペクタイト錠100mg	
**成分・含量 (1錠中)	L-メチルシステイン塩酸塩 50mg	L-メチルシステイン塩酸塩 100mg	
剤 形	腸溶性のフィルムコート錠		
**添 加 物	乳糖水和物，結晶セルロース，無水ケイ酸， ヒドロキシプロピルセルロース，ヒプロメロ ースフタル酸エステル，シリコーン樹脂，マ クロゴール，タルク		
外 形	表面	Ⓚ PC ₁	Ⓚ PC ₂
	裏面	○	○
	側面	≡	≡
直 径 (mm)	7.6	9.2	
厚 さ (mm)	3.9	5.1	
重 量 (g)	0.17	0.30	
色 調	白色		
識別コード	Ⓚ PC ₁	Ⓚ PC ₂	

－ 効 能 ・ 効 果 －

1. 下記疾患の去痰

感冒，気管支喘息，急性気管支炎，慢性気管支炎，
気管支拡張症，肺結核，上気道炎（咽頭炎，喉頭炎），
けい肺

2. 慢性副鼻腔炎の排膿

－ 用 法 ・ 用 量 －

通常成人，L-メチルシステイン塩酸塩として1回100mg
を1日3回経口投与する。

なお，年齢，症状により適宜増減する。

－ 使 用 上 の 注 意 －

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

(1) 肝障害のある患者〔マウスにて軽微な肝びまん性変

性像を認めたとの報告がある。〕

(2) 心障害のある患者〔心不全のある患者に悪影響を及
ぼしたとの報告がある。〕

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していない。

	頻度不明
精神神経系	めまい，頭痛
消化器	食欲不振，腹痛
過敏症 ^{注1)}	発疹

注1) このような場合には投与を中止すること。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので慎重に
投与すること。

4. 適用上の注意

(1) 服用時

本剤は腸溶錠なので，かまずにそのまま服用させ
ること。

(2) 薬剤交付時

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して
服用するよう指導すること。（PTPシートの誤飲
により，硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し，更には穿
孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発する
ことが報告されている。）

－ 薬 物 動 態 －

(参考)

1. 分布¹⁾

マウスに³⁵S-L-メチルシステイン塩酸塩を経口投与し
た結果，すみやかに吸収され，肝臓，腎臓，脾臓，皮膚，
消化管粘膜及び気管・気管支粘膜への分布が認められた。

－ 臨 床 成 績 －

1. 二重盲検比較試験²⁾

慢性閉塞性肺疾患に対する二重盲検比較試験において，
自覚症状の「痰の切れ」他覚所見の喀痰粘度，患者によ
る評価・総合評価において本剤の有用性が認められてい
る。

2. 一般臨床試験

本剤の一般臨床試験において、効果判定可能な対象患者は514例でそのうち347例が有効以上と判定され、総有効率は67.5%であった。

症例を疾患別にまとめて有効率を求めると下記のようなものである。

疾患名	有効例数 (%)
急性気管支炎	69/ 73 (94.5)
慢性気管支炎	40/ 59 (67.8)
気管支拡張症	24/ 31 (77.4)
肺結核	15/ 34 (44.1)
気管支喘息	56/ 81 (69.1)
けい肺	5/ 7 (71.4)
感冒	22/ 34 (64.7)
上気道炎	18/ 26 (69.2)
慢性副鼻腔炎	98/169 (58.0)

－薬効薬理－

- イヌの摘出気管にHanks液中でL-メチルシステイン塩酸塩を処置し、染色下にて顕鏡した結果、粘液成分の糖蛋白組成の変化と粘度の低下を示した。また、気管分泌細胞からの分泌を促進することで痰を希釈して去痰作用を示すことが明らかにされた。³⁾
- 本剤の粘液溶解作用はムコ蛋白中のジスルフィド結合(RS-SR)とL-メチルシステイン(R'-SH)が下記のような置換反応を起こすためといわれている。⁴⁾
$$RS-SR + R'-SH \rightarrow R'S-SR + R-SH$$

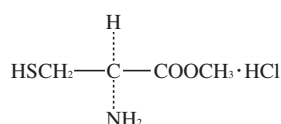
－有効成分に関する理化学的知見－

** 一般名：L-メチルシステイン塩酸塩

(Methyl L-Cystein Hydrochloride)

** 化学名：Methyl(2R)-2-amino-3-sulfanylpropanoate monohydrochloride

構造式：



分子式：C₄H₉NO₂S·HCl

分子量：171.65

性状：本品は白色の光沢ある結晶又は結晶性の粉末で、わずかに特異なおい及び味がある。本品は水に極めて溶けやすく、メタノールに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品の水溶液(1→100)のpHは2.9～3.8である。本品はやや吸湿性である。

融点：138～141℃

－ 包 装 －

ペクタイト錠50mg
1000錠
100錠 [10錠×10]
1000錠 [10錠×100]
ペクタイト錠100mg
1000錠
100錠 [10錠×10]
1000錠 [10錠×100]

－ 主 要 文 献 －

- Wepierre, J. et al. : Therapie, 19(1) : 187, 1964.
- 伊藤和彦ほか：日本胸部臨床, 32(4) : 305, 1973.
- Yanaura, S. et al. : J. Pharm. Dyn., 5 : 603, 1982.
- Saia, B. et al. : Minerva Medica, 58(88) : 3773, 1967.

－ 文 献 請 求 先 －

キッセイ薬品工業株式会社 製品情報部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
TEL. 03-3279-2304

® 登録商標

* 製造販売元  キッセイ薬品工業株式会社
松本市芳野19番48号

27-AH